

医も人生も学べる一冊

五十嵐勝朗著「北国から贈る明日へのカルテ」

今 充

書 評

退任され、名誉院長に任じられている名医であります。

著者は、弘前大学付属病院小児科の講師を務め、国立弘前病院院長を務めたがこの度、退任後2冊

著者の現役時から、その健筆に感服していまし

一般の方にカルテ(診療録・診療経過を記録したもの)は、馴染みない

言葉かもしれませんが、著者の今日までのかけがいのない人生経験記録を、生来持ち合わせている好奇心と、小児科名医の呼び名高かった温かいまなざしでの医学者として心に留め置いたことを

出版されたとすれば、これ以上のタイトルはないでしょう。

河江での幼少時と退任後してまで、真摯に医療に今日までの記録。第三章従事したことなど。小児は日常茶飯事の出来事への腹部診察の項などは、の疑問を学問的に深く探 吾が意を得たり”で、

学問的な腰曲がりの話など。第七章は明日への行方の項で、参保荷賀手(さんぽにがて)さんの健診をとおしての日本のゆくえを案じて閉じられています。

一般家庭実用医学書としては、もちろん専門医師も、気軽に医も人生も深く学べる名著です。(弘前大学名誉教授・医学博士、弘前市)

※著者五十嵐勝朗さんは山形県寒河江市在住。

第六章は著者自身義母の介護体験から得られた貴重な知識など。本書随所に出てくる斬新で軽妙な名前の一人古師画真雅留(腰が曲がる)さんを介しての分かり易くて、



文化



第40回日象展
「初夏のアルプス」
猪股 京子 (藤崎町)

1680円。